

令和2年6月5日発行

KURITAYA School letter

横浜市立栗田谷中学校

TEL (481) 3767



少しずつ慣れていくよ！ 校長 小泉 純一

約3か月にわたる臨時休業が解除になりました。生徒のみなさんお帰りなさい。みなさんと会えるのを本当に待っていました。長い間、辛く、息苦しい生活を送ってきたことと思います。

久しぶりに登校してくる生徒の顔や教室で授業に取り組む様子を見ながら、「やっと学校らしくなったな。」と実感しました。

今週から学校は始まりましたが、2週間はクラスを2つに分けての半日授業になります。ただ、感染防止のためでもあります、生徒がふだんの学校生活のペースを取り戻すため、1年生にとっては中学校生活に少しでも慣れるための助走期間と考えてください。6月15日(月)からは、通常の形態で授業が開始されます。昼食も始まりますが、部活動は6月中は活動できません。

7月からは、部活動も開始され、いつもの学校生活に戻っていきます。

ただ、予定していた行事がなくなったり延期になったり、一番心苦しいのは、部活動の大会が中止になってしまい、3年生のこれまでの苦労や努力が報われないことが悲しくてなりません。

高校総体(インターハイ)や夏の甲子園大会も中止になってしましました。毎年、何気なく季節の風物詩と楽しみにしていたものがことごとく中止になっています。この状況のために、味わわなくていい悔しさやむなしさをどうしてあげればいいのか言葉が見つかりません。

5月号の学校だよりに書きましたが、どうしようもないこの思いをこれからの中学校生活や人生にプラスのパワーにつなげてくれることをお願いします。

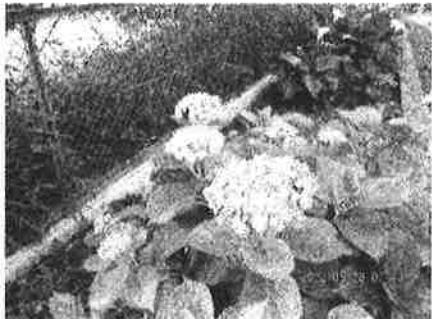
保護者の皆様、休業期間中本当にありがとうございました。教職員一同、全力で教育活動に取り組んで参りますので、ご家庭におきましても変わらぬご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

きゅうぎょうちゅう がっこう ようす 休業中の学校の様子

せいと 生徒のいない学校は、本当にさびしいものでした。先生たちや用務員さんが
こうしゃ そうじ たいいくかん ふどうじょう かんき 校舎の掃除や体育館や武道場の換気などをこまめにしてくれました。



【生徒のいない教室】



【校舎裏に咲き始めた紫陽花】



【課題の配付 お家はどこかなあ】



【休業中に6組が畠を耕してくれました！発芽したのはジャガイモ！】

はじ
始まつたー！(^_^)!

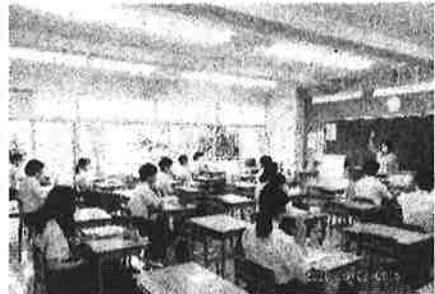
せいと
生徒の声が書いてこそ学校らしい！



【久しぶりの登校】



【クラス半分の登校】



【授業風景】



【ソーシャルディスタンス】



【アルコール消毒】



【ハンドソープ】